

令和6年

4月号

No.654



日蓮宗

法音寺



今月のご法話

善き友を持つ

悦可衆心

よい教えを伝えよう
おし つた

今日一日、

人に感謝しましょう

今日一日、

人に親切にしましょう

今日一日、

人を善に導きましょう

月刊・法音 令和6年4月号 No.654 目次

【信仰の指針】善友ぜんゆう お互いに励まし合って徳を高めましょう 1

善き友を持つ 山首 鈴木正修 2

◆ 講日のご案内 15

◆ 有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください 16

◆ 五十萬巻 御報恩納経 妙法蓮華経 久遠偈 18

◆ 仏教漫画『日蓮さま』・24星降りの奇瑞 19

◆ 星降りの奇瑞 27

◆ お寺の本棚 28

◆ 常寂光土への誘い(21) 30

◆ 法音寺は「信仰と福祉のお寺」です 33

◆ のりのね体験 34

◆ 支院だより・計報 36

◆ 福祉のひろば 63

○ 幸せのお手伝い 64

○ 特別養護老人ホーム安立荘・構想2年！製作3カ月！『手作りかまど』が完成！ 66

○ 日本福祉大学・第17回提携社会福祉法人サミットを開催しました 68

◆ 賛助員ご芳名 70

◆ 幸せの種まき／編集後記 72

◆ 連載まんが・ひまわり・135 長所を作ろう 73

◆ 法音寺の社会福祉・教育事業 77

掲載写真 表紙・信仰の指針 3頁・15頁・梅田雅臣氏撮影

2頁・加納将人氏撮影

表紙写真・しだれ桜

信仰の指針

ぜん
ゆう

善友

お互いに励まし合って

徳を高めましょう

日教五



八重ザクラ



朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

善き友を持つ

先日あるお母さんから相談を受けました。その方は小学生の娘さんに友達が少ないことを大変心配しておられ、来年、中学校に進学したら、友達がたくさんできるように切に願っておられました。

また別のお母さんですが、息子さんが大学に入学後、なかなか友達ができず、「学校に行くのが楽しくない」と言っていることを心配されていました。

そういう方々に私はいつも同じ話をしていきます。

私の学生時代に、ある青年雑誌に今東光というお坊さんの人生相談のコーナーがありました。今東光和尚は天台宗の大僧正で、瀬戸内寂聴さんの師匠にあたる方です。作家で参議院議員でもありました。型破りなお坊さんで痛快な



人生相談でした。『極道辻説法』という題で、当時の若者に大変人気がありました。

ある時、「和尚、僕は東京に一人でやってきて大学に入学しました。しかし友達ができなくて寂しくて仕方がありません。どうしたらよいでしょうか」という相談がありました。これに対して、今東光和尚は「ああ、友達か……。そんなものは要らんだろう」という答えでした。その理由は、「寂しいからと人に擦り寄っていても、ろくな友達はできない。それよりも今自分のやるべきことをしっかりやれ。そうすれば良い友達もできるし、彼女もできるぞ」というものでした。

さすがと言え、鋭い説法だと思えます。しかし、そう言っても誰もが友達は欲しいものです。私にも似たような経験があります。

私は浪人をして東京の早稲田大学に入ったのですが、当



初友達も話し相手もなく、とても寂しい思いをしました。
入学式の後にオリエンテーションがあり、学生生活について指導があったのですが、そこで偶然に小・中学校時代の同級生と会いました。九年間同じ学校に通っていたのですが、お互い名前を知っているだけで、直接話したことはありませんでした。しかし、再会した晩に夕食をともにし、その日は夜中まで、何時間もいろいろな話をしたのを覚えています。二人ともよほど人恋しかったのだと思います。

今回は友ということに関してお話をしたいと思います。
鎌倉時代末期に吉田兼好が書いた『徒然草』に友についての記述があります。

「友にするのによくない者が七つある。一つには、身分の高い人。二つには若い人。三つには無病で身体の強い人。四つには酒を飲む人。五つには勇猛な武士。六つには嘘をつく人。七つには欲深い人」



この中で「嘘をつく人」と「欲深い人」はわかりますが他の五つについてはあまりピンときません。しかし、別の章段を読むとそこにヒントがあります。

「同じ心をもっていているような人としんみり物語りして、おもしろいことでも、つまらない世間話でも、心のへだてなく言い慰め合えるとしたら、それこそうれしに違いない」キーワードは「同じ心」です。価値観の一致しない人は友としてよくないということのようです。

上智大学名誉教授であった渡部昇一先生が『知的余生の方法』の中で友について語っておられます。「若い時には思想、信条が違ってても、つきあえるものだ。意見の違いが、かえって自分の考え方をはつきりさせることもあるだろうし、相手の方がよく勉強していると気づくと、自分もより深く勉強するようになる。若い時には、考え方の違いが、自分を高めることに役立つこともある。けれども、年をとるとだんだん考え方の違う人とは付き合いたくなくなるも



のだ。一緒にいておもしろくも楽しくもない。長年培ってきた基本となる思想、信条の違いは大きいのである」

渡部先生も「同じ心」ということを言っておられるのだと思います。

私自身、大学時代に思想・信条の全く異なる友人がいましたが、当時は彼らと話をしても、それなりにおもしろかったことを思い出します。しかし今、思想・信条の違い人と一緒にいてもあまり楽しくありません。やはり法華経を基本とした考え方、「徳を積むことがすべての肝心である」という考えの人と過ごすことが一番楽しいと感じます。

兼好は良き友についても書いています。

「良い友に三つある。一つには物をくれる人。二つには医者。三つには知恵のある人」

これは現代に置き換えると慈善事業家とお医者さん、弁



護士さんということになるでしょう。非常に正直で実利的でおもしろいと思いますが、兼好の本心は違うところにあったようです。それは次の言葉からわかります。

「ただ一人灯火の下で書物をひろげて、見も知らぬ昔の人を友とするのは、この上もなく心慰むことである」。兼好は孤独な境地を楽しむ一流の文人であったのです。

孔子の『論語』にも友についての記述がいくつかあります。

顔淵篇に「君子は文を以て友を会し、友を以て仁を輔く」
（立派な人物は文化・教養によって友人と相対し、友人との付き合いを通じて徳性を高める助けとする）とあります。
同じ顔淵篇に「子貢友を問う。子曰く、忠告をして善くこれを導く。不可なるときは則ち止む。自ら辱しめらるることなし」
（子貢が交友の道をたずねた。先生はこたえられた。真心を込めて忠告しあい、善導しあうのが友人の道だ。しかし、忠告善導が駄目だったら、やめるがいい。無



理をして自分を辱しめるような破目になってはならない）とあります。

この友人への忠告について『論語と算盤』を書いた日本資本主義の父、渋沢栄一が蘊蓄のあることを言っています。「莊子も君子の交わりは、淡きこと水の如しと言っているが、論語の言葉とともに味わうべき言葉である。私はきわめて親密な人だとか、若い青年は別としてめったに諫言苦言を言わないことにしている。私の多年の経験によれば、自分と処世の流儀が全然違う人に対しては、どれほど自分の意見を述べて同意させようとしても、無駄な努力に終わることがほとんどである。しかし、縁が切れてしまえば、それまでである。だから、こちらが短気にならず、年月をかけて良い機会を待つことが大事である」

もう一つ『論語』の里仁篇から紹介します。

これは直接友ということではありませんが、知人・友人・縁者を見てということです。



「子曰く、賢を見ては齊しからんことを思い、不賢を見ては而して内に自ら省みるなり」

これは、他人の言動を見ては、それをすべて自分を磨く手本とせよという意味です。世の中の賢人も愚者も自分にとって先生なのです。

「鍋島論語」と呼ばれる武士道の指南書・『葉隠』の中に次のような言葉があります。

「どんな悪筆の者でも、良い手本をまねて、一生懸命に習えば、それなりの字は書けるようになる。奉公人も、立派な奉公人を手本にしたなら、それなりの働きはできるようになるはずだ。すべての芸事にいえることだが、弟子は師匠の優れた点はなかなかまねができず、かえって悪いところばかりを引き継いでしまう傾向がある。これでは何の役にも立たない。人の優れた点に気がつくことができれば、誰であつても良い手本、良い師匠となることだろう」



これは本当にそうで、私達は良いところを真似るより、悪いところを真似てしまうことが往々にしてあるものです。子どもは親の言った通りにはしないけれども、親のした通りにするにはということも同じではないでしょうか。

お釈迦さまも、友について語っておられます。シンガーラという資産家の息子に対して語られたところによりますと、「悪い友四種類、善き友四種類」とあります。

「悪い友とは、何でも取っていく人、言葉だけの人、甘言を語る人、遊蕩の仲間。これらは友に似た者に過ぎず、実は敵である。本当の善き友とは、助けてくれる友、苦しい時も楽しい時も一緒に変わらない友、その人のために思っ

て話をしてくれる友、同情してくれる友である」

ここでいう「同情してくれる」とは、大慈悲を以って接してくれるという意味です。それに付け加えて「同情してくれる友とは、あたかも母親が、己が子を慈しむがごと



く接せつしてくれる友ともである」とおっしゃっています。

母親ははおやが己おのが子こに接せつするようにぐというのはわかりやすい例たとえだと思おもいます。父親ちちおやは子こどもに對たいし、どうしても理屈りくつ中心ちゆうしんで接せつしてしまいます。父親ちちおやは子こどもを訓育くんいくしようとするからです。一方いつぱう、母親ははおやは愛情中心あいじやうしんで子こどもに接せつします。

妻つまが亡なくなった時とき、息子むすこの廣修こうしゆうが思おもい出でを書かきました。それが昨年さくねんの『法音ほうおん』1月号がっごうに掲載けいさいされました。廣修こうしゆうは大學入がくにゆうがくこ学がく後ご、ストレスで学校がっこうに行いけなくなりました。廣修こうしゆうは大變たいへんだったね。とりあえず一いっしょ緒じゆに名古屋なごや「つらかったね。大變たいへんだったね。とりあえず一いっしょ緒じゆに名古屋なごやに帰かえろうね」と声こえをかけたのです。廣修こうしゆうは当初こうしゆ叱ちかられるかと思おもったそうですが、「その言葉ことばですごく心こころが楽らくになった」と言いっています。父親ちちおやだと、「どうしたんだ。何なにをしていいるんだ」と言いってしまいがちですが、あれが母親ははおやの接せつ



かた
方だなぐと私は思いました。

お釈迦さまがある日、祇園精舎で次のように説かれました。

「比丘達よ、朝な朝な太陽が東にのぼるときには、その先駆として、またその前相として、東の空に明るい相が出ずるであろう。比丘達よ、それと同じく、比丘達が八つの聖道をおこす時にも、その先駆たり、その前相たるものが存する。それは善き友のあることである」

お釈迦さまがサツカラという村におられた時、常隨の弟子、阿難がふと、この善き友についてたずねました。

「大徳よ、善き友を有するということは、この聖なる道の修行のなかばをなすものであると思われませんが、いかがでありますか」

この時阿難は、善き友を持つことの意義を高く評価しすぎていたのではないかと内心思っていたのです。しかるに



お釈迦さまは、

「阿難よ、この言をなすなかれ。善き友をもつということはこの道の聖なる修行のすべてである。善き友をもつ者は生・老・病・死より解脱し、愁・悲・苦・惱からも解脱することができるのである」と答えられたのです。

つまり、善き友を持つことによって人生は幸福となり、悪しき友を持つことによって、人生が不幸になるといいうことです。

皆さん、善き友を持ちたいと思われたことでしょうか。それにはまず、自分が人にとって善き友になるように努力をしなければいけません。



良い教えの話を聞きましょう。

全国の法音寺各支院・布教所では
毎月の講日の中で

三徳の教えを聞くことができます。

是非講日にご参詣いただき

教えを心にしみ込ませましょう。

◆今月の山首上人さまご親修日程

西春支院	4月2日(火)	京都支院	4月9日(火)
田川支院	4月13日(土)	福岡支院	4月14日(日)
静岡支院	4月21日(日)		

有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

支院・布教所名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乗山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	7日・13日・20日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
静岡支院	2日・12日・21日	磐田市城之崎4-7-3	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	6日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	11日・26日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)32-1825
佐屋支院	4日・14日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0586)72-7208
一宮支院	5日・15日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0568)22-5813
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎(058)245-2939
岐阜支院	4日・14日・24日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)388-2740
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(0584)78-4854
大垣支院	1日・11日・21日	大垣市宝和町5	☎(0575)22-1077
関支院	3日・13日・23日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)23-3771
平賀支院	6日・14日・21日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)65-3933
郡上八幡支院	8日・21日	郡上市八幡町小野7-2-1-3	☎(059)352-3633
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(059)352-3633

☎ご連絡は本山寺務局へ

上野支院	1日・11日・21日	伊賀市上野向島町3475	☎(0595)2110127
京都支院	1日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)23113437
高槻支院	7日・21日	高槻市天神町11912	☎(072)68511003
大阪支院	14日・23日	大阪市此花区西九条314141	☎(06)646515051
和泉支院	7日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(072)46613112
神戸支院	13日・21日	神戸市兵庫区五宮1917	☎(078)36014884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)4210175
岡山支院	7日・9日・23日	岡山市南区若葉町116	☎(086)26210818
高知布教所	12日	高知市上町515139	☎(088)82311983
福山支院	7日・21日	福山市西町31915	☎(084)92113078
三原支院	13日・28日	三原市皆実219122	☎(0848)6215087
安芸津支院	7日・21日	東広島市安芸津町三津376513	☎(0846)4514012
坂支院	13日	広島県安芸郡坂町坂東2124112	☎(082)88511064
福岡支院	7日・14日・21日	福岡市早良区城西211137	☎(092)82117975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1112	☎(0920)4415445
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和150211	☎(0964)5810742
田川支院	7日・13日・28日	田川市春日町7130	☎(0947)4211819
名古屋地区	7日・17日・27日	名古屋市昭和区駒方町313	☎(052)83117135
瀬戸布教所	9日・19日・26日	瀬戸市東本町2120	☎(0561)8516860
亀岡布教所	8日・28日	亀岡市篠町篠牧田7311	☎(0771)2517807

※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。(掲載順不同)

高祖 日蓮大聖人 第七百五十遠忌

始祖 廣宣院殿安立大法尼 第一百遠忌

御開山 泰山院日進上人 第七十遠忌

御報恩

五十萬卷 御報恩納経

妙法蓮華経

久遠偈

大乘山 法音寺

書写經典	久遠偈（如来寿量品第十六）
納経期間	令和4年1月1日より10年間
納経供養金	1冊2,000円

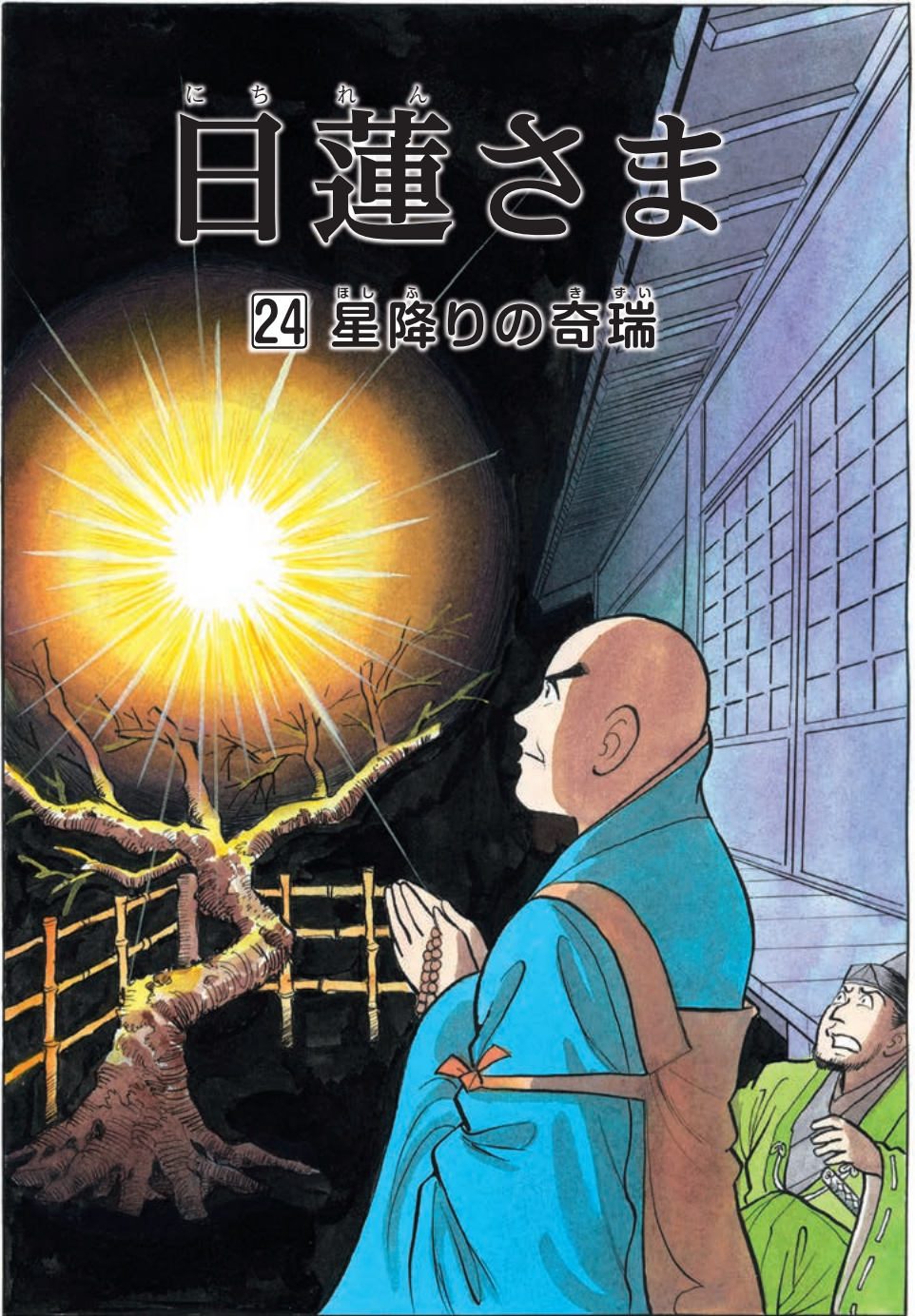


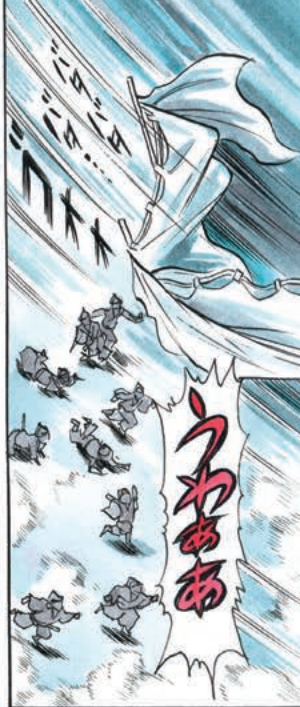
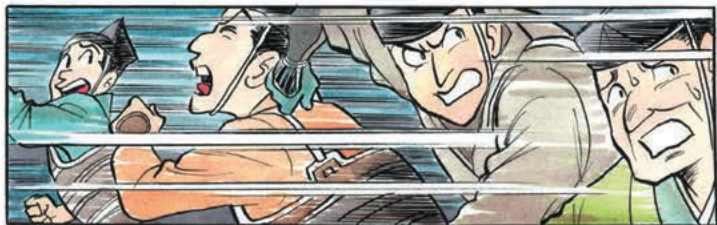
写経のまんが動画がご覧になれます

※納経帳のお求めは本山事務所受付または所属まで

に ち れ ん
日蓮さま

24 ほし ぶ り の き す い
星降りの奇瑞







打ち首は
中止じゃ

これで日蓮!
おぬしの罪が
消えたわけではないぞ



ここは書状とあり
依智の国
本間六郎左衛門尉重連へ
引き渡す!
神妙に沙汰を待つがよい!



何を
しておる
馬だ!



昨夜は無礼
つかまつった



あなたさまは
首を斬り落とす瞬間
刃を折ってしまった
不思議な力を持つて
おられる...

そんな偉い方とも
つゆ知らず
無礼千万な振る舞い
どうぞお許し
ください...



では日蓮殿を
依智まで丁重に
お連れせよ

はは!

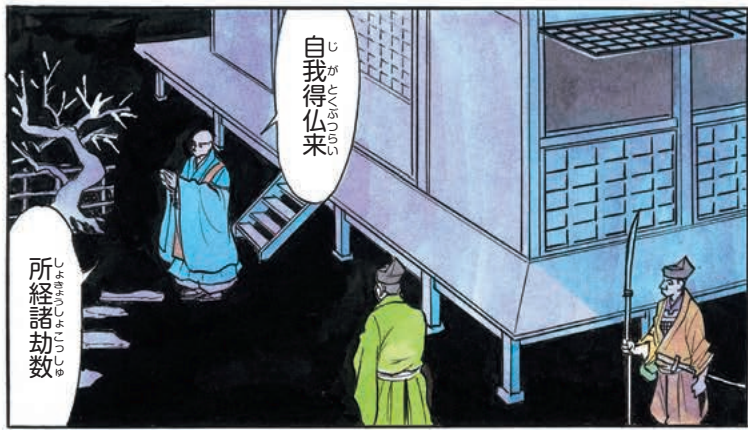
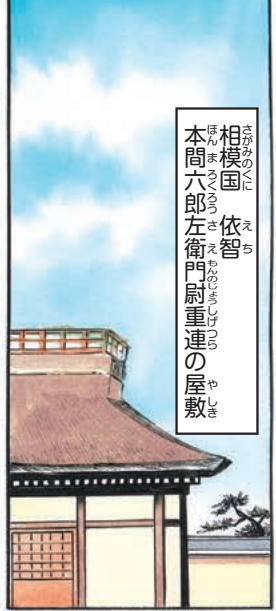
相模国 依智
 本間六郎左衛門尉重連の屋敷



私は本間右馬尉
 と申す者

主は領地の佐渡が島に
 赴いております故
 私がお世話をいたします

かたじけない
 よろしく
 お願いします



自我得仏来

所経諸劫数



無量百千万

億載阿僧祇

常説法教化



空に輝く月よ
法華経行者守護の
証しを顕し給え

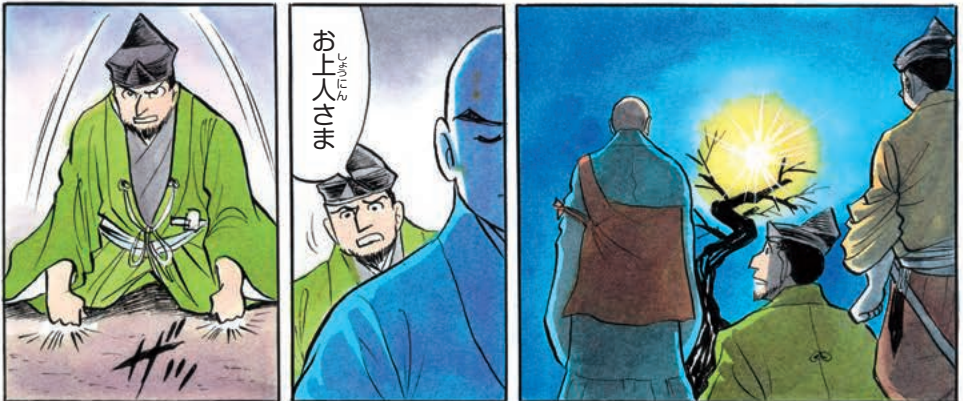


龍ノ口では月天子が
私を助けてくださった



これより先も
法華經行者の
守護を約束しよう

おお明星天子…
天は私の心を
お聞き届けになられた



おぼ
及ばずながら
これからは親身になつて
お仕えさせていただきます

どうか私を
信者の末席に
お加えください



わたくしめも
よろしく
お願いします



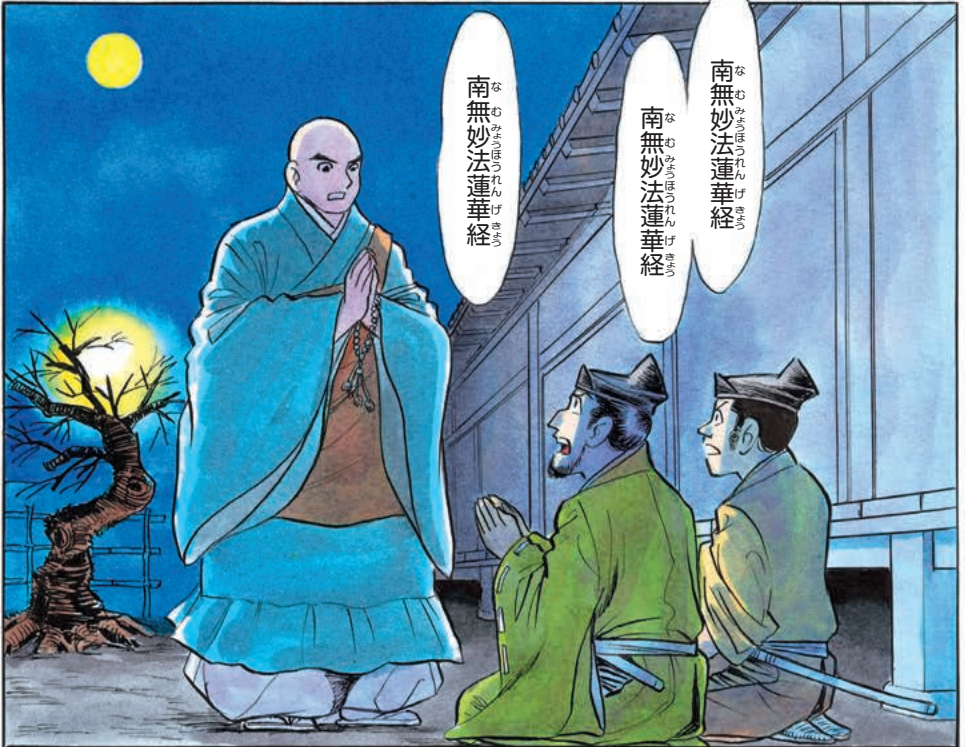
それでは一緒に
お題目を唱えまじまつぞ



南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經



つづく

星降りの奇瑞

龍ノ口で天変怪異に度肝を抜かれた武士達とともに、依知えちの本間重連の館に到着した日蓮聖人は酒を振る舞い、労をねぎらったといいます。武士の中には日蓮聖人の法力に感服し、改宗して鎌倉に引き返した者もいたそうです。

神奈川県厚木市に明星山妙純寺があります。ここは本間重連の館跡といわれています。本間重連は、佐渡の領主・北条時宣の家臣でした。そこで、佐渡流罪にするにあたり、幕府は依知の本間氏の館に日蓮聖人を一時預けたのです。

この日は仲秋の名月の夜で、日蓮聖人は庭に立ち、空の月天子に向かって「法華経行者守護の証しを顕し給え」と祈ったところ、「天より明星の如くなる大星下りて前の梅の木の枝にかりてありしかば、ものふ（武士）ども皆縁より飛び下り、或は大庭にひれ伏し、或は家のうしろへ逃げぬ」という奇瑞が起こったと、『種種御振舞御書』に書かれています。



星下り明星山妙純寺（神奈川県厚木市）HPより



お寺の本棚



『大白牛車(四)』



蓮の華に学ぶ心

法華経従地涌出品に「不染世間法、如蓮華在水」とあります。

「世間の法に染まざること、蓮華の水に在るが如し」ということです。

世間の法とは、この世界のすべての出来事、有様を言いますが、特にここでは、貪・瞋・痴の渦巻く現実社会に生きながら、それらのことに惑わされない姿を言っているのです。

蓮の華は、きれいな花壇ではなく泥田の中に咲きます。しかも、泥に汚されることなく、美しく咲きます。妙法・三徳の信仰者はそうあるべきだ、と教えられています。

従地涌出品で説かれることは、「お釈迦さま滅度の後の末法濁悪な世に妙法を宣布する使命を帯びた菩薩の出現」であります。この菩薩を「本化地涌の菩薩」と申します。その上首が行・無辺行・浄行・安立行の四大菩薩であります。この地涌の菩薩が、三毒渦巻く濁世にいなから一切染められることなく、その姿はあたかも、泥田に美しく咲く蓮華のようであると説





かれるのです。

「地涌の菩薩様は修養の出来た立派な方だから…」と言われるかもしれませんが、そうではありません。少しでも法華経に縁を結び、お話を聞き、実行してみようと心がける人は皆、地涌の菩薩です。杉山先生以来法音寺は、そうした見地に立って法華経を伝えてまいりました。私も、あなたも、今、お話をお聞きの皆様方すべてが、地涌の菩薩です。この世の中いろいろなことがあります。楽しいことより、苦しいことの方が多いかもありません。しかし、どんな困難なことに出くわしても、そのことに左右され、押し潰されない生き方を「不染世間法、如蓮華在水」というのです。

少なくとも法華経を聞き、実行しようとする私共は皆、地涌の菩薩との自覚を持ち、三毒の社会にいても淨らかに咲く蓮の華のような生き方をしたいものです。この世界は因縁の世界でありますから、たとえまわりがどうあろうと、その中で一人だけでも三毒に染められず、左右されず、慈悲・至誠・堪忍の三徳の心でやっていくならば必ずその因縁は華開き、まわりをよくしていくことができますのであります。

この本をもっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所までお問い合わせください。

常寂光土への誘い (21)

無量義經 説法品第二

善男子、是の義を以ての故に、一切の諸仏は二言あることなく、能く一音を以て普く衆の
声に應じ、能く一身を以て百千万億那由他無量無数恒河沙の身を示し、一一の身の中に又
若干百千万億那由他阿僧祇恒河沙種種の類形を示し、一一の形の中に又若干百千万億那由
他阿僧祇恒河沙の形を示す。

「善男子よ、そういう訳で自分は、同じ心で教えを説いているのである。自分ばかりではない。一切の諸
仏が皆同じである。『どんな人であっても、覺りを開いて仏と同じ境遇に到達するように』という心で教
えを説くのである」

仏さまのみ教えは、根本において変わらないということを理解しなければなりません。「一切の仏
々諸仏」は皆、同じ心でおられるのでありますが、大勢の人の要求するところがそれぞれに違うので、そ
の求めるところに応じて、適切なみ教えを与えてくださるのです。

一切の諸仏は「能く一身を以て百千万億那由他無量無数恒河沙の身を示し」人々のいろいろな境遇に
応じ、又、さまざまに変化に応じて身を変え、適切な教えを説かれるということです。仏と名乗らず、世俗
の人間の姿を取って人々と一緒に住み、教え導かれることもあります。それが「一一の形の中に又若干百

千万億那由他阿僧祇恒河沙の形を示す」と言われているところであります。

仏さまは実に変幻自在にして、尊いお方であることがよくわかるのであります。

「恒河沙」＝恒沙とも。インド最大の河・ガンジス河の河岸の砂のこと。ガンジス河は本流が二千五百キロあり、しかも無数の支流を持つと言われ、その河の岸辺の砂というのですから、人の力では数え切れません。

善男子、是れ則ち諸仏の不可思議甚深の境界なり。二乗の知る所に非ず、亦十地の菩薩の及ぶ所に非ず、唯仏と仏のみ乃し能く究了したまえり。

「善男子よ、これが諸仏の不可思議甚深の境界なのである。二乗（声聞と縁覚）又、十地の菩薩の行を積んで、仏の境遇に近くなっているものでも、仏の本当の力の広大なることは思いも及ばない。仏に成って初めて、仏というものが如何に尊く、どんなに勝れているかがわかるのである」

善男子、是の故に我說く、微妙甚深無上大乗無量義経は、文理真正なり、尊にして過上なし。三世の諸仏のともに守護したもう所、衆魔外道、得入すること有ることなし。一切の邪見生死に壊敗せられずと。菩薩摩訶薩、若し疾く無上菩提を成ぜんと欲せば、应当に是の如き甚深無上大乗無量義経を修学すべし。

「善男子よ、そういうわけで今自分は無量義経を説くが、その説くことは皆真実で間違いないものである。教えとしてこれ以上のものはなく、これを本当に理解していけば、今は凡夫であっても『仏の境界』に到達できるのである。この法は過去・現在・未来の三世の諸仏がともに守護せられるところであり、すべての仏はこの教えが世の中に弘まるように、これを守るように念じておられるのである。凡夫であっても修行していけば『仏の境界』に到れるのだということが確信されるようになれば、どんな障りがあっても、どんな苦しいことがあっても、勇気がなくなるといったことはない。『衆魔外道、得入すること有ることなし』で、他より何の障りも受けず、又、どんな間違った教えがあっても気を取られることなく、どんなに自分の修行の邪魔をする者があっても負けはしない。又『一切の邪見生死に壊敗せられず』で、いろいろな変化によって心を乱されることが多い世の中であるが、そういう浅はかな出来事によって乱されるようなことはないのである。世間の事に負けて、修行を途中で止めてしまうということも考えなくなる。だから菩薩摩訶薩よ、大乘の修行をする者は他の道を取ることもなく、真の道一筋に『無上菩提』を成就しよう」と進んでいくなら、大きな功德が具わってくる。この教えを固く信じて、修行を励んでいくがよい」



法音寺は「**信仰**と**福祉**のお寺」です

困っている人達の助けになることで、
法音寺には“**功德**”が積み重ねられています

(功德とは、「幸せを引きよせる種」です)

その功德が信仰を通して
皆さんに授けられるのです



法音寺による社会貢献

社会福祉法人昭徳会の運営を基に
現在1,500名を超える人達のお世話をさせていただいています

**福祉のさまざまな分野を支え、
利用者さんの幸福を実現します**

児童福祉施設

親と暮らせない約170名の子ども達の
生活を支えています

保育園

毎日370名余りの園児達の
成長を見守っています

障がい児・障がい者施設

300名を超える人々に
日々希望を与えています

高齢者施設

60名ほどのお年寄りに
寄り添っています



「ご法話をうかがって、ほかの人の何千倍、何万倍も愚痴をこぼしてきて、なんともったいな
いことをしてきたのだろう」と思いました。お寺の教えの詳しいことはわかりませんでした
が、
「喜ぶことを実行してみよう」と決心しました。

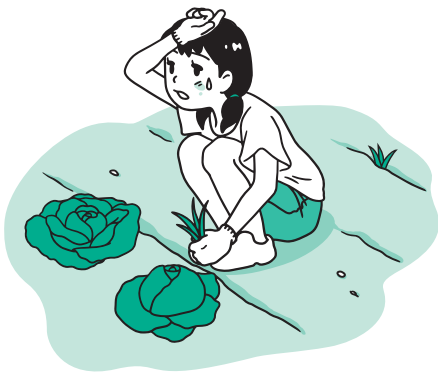
毎日の生活の中で一つひとつ行動するたびに、「喜んで」と自分に言い聞かせました。半年ほ
ど過ぎた頃、体がスーツとして心地良く、疲れていないことに気づきました。

今思えば、初めて教えを聞いて素直に従った人に、仏さまが授けてくださる「ごほうび
」初信の随喜」だったのです。その時の不思議さと驚きは今も忘れられません。

喜んで働くことを毎日続けられたのは、父が同じ仕事を十年以
上繰り返してさせてくれたお陰だったことに気づき、父に感謝する
と同時に、不足を思い、怒りを抱いていたことを詫言いました。

喜ぶこと、喜んでもらうことで、御開山上人の『おりにふれて』
にある「人が喜び、自分もうれしい」を実感し、我が身にありが
たいことが起こるばかりでなく、周りの人の喜びが自分の心に喜
びを生むことを感じております。

これからも喜んで働き、心地良さを味わい、縁ある方に伝えら
れるよう努力いたします。



安芸津支院前主管 湯本妙順法尼のご遷化



令和6年2月27日、安芸津支院前主管・湯本妙順法尼（持念院妙順法尼）がご遷化されました。法寿103歳。

歎徳文

靈山一会巖然未散 法華經中常住の一切の三宝 殊には末法唱導師 高祖日蓮大菩薩 当山始祖廣宣院殿安立大

法尼 二祖弘教院殿宗玄大徳 御開山泰山院日進上人 第二世顕修院日達上人等 悉皆慈悲影現道場の御宝前において 一会の清衆と俱に恭しく一乘圓頓の法筵を張り 当山安芸津支院前主管 持念院妙順法尼の葬送の儀を修し奉る

夫れ以れば 仏天も遁れ難きは 生者必滅の理 四聖も免れ難きは 会者定離の習いなり 爰に十号の月の光も有為の雲に隠れ 六欲の花の色も転変の嵐に萎む 誰の人か滅せざらん 何れの処か常住ならんや

爰に妙順法尼 令和六年二月二十七日 世寿百有三歳法臘四十三年を以て生死の理を示さんが為 人界娑婆を離れて 安祥として化を他界に遷し 常住不壞の靈山浄土に赴くなり

状を案ずるに 妙順法尼 大正十一年三月二十日 父湯本格市 母ヨシの長女として広島県福山市戸手町に生ま

る 妙順法尼の往昔の結縁深重なるかな 父母とともに妹 猪原妙政法尼より聞き難き曇花の妙法を聞けり 爾来求道心堅固にして 菩提心を退せず 法華經三徳に身命をささげ 昼夜に玄題を高唱し 広演此經の座を設けては 哀愍衆生の質を示し給う 昭和五十七年三月十九日 甚深の宿縁に依りて 当山第二世顕修院日達上人を戒師として出家得度す

妙順法尼 生涯仏祖の誓願を一心に体し 道心いささかも揺がず 内に慈悲の徳を示し 親疎之れに帰す 外には柔和の相を表し 遠近之れに隨う 故を以て往來の客絶ゆることなく 常に市を成すが如し

然りと雖も 閻序の苦使は英雄を恐れず 変異の罪鬼は老壯を問わず 生者必滅の掟通れがたし 悲しい哉 法尼の温顔に接すること 今はなし 本日葬送の靈前に立ち 在りし日の

面影を偲び 幾多の思い出に追慕を新
たならしめども 遺音を寂寞の中に求
むるのみ 嗚咽胸にあふれて言葉を尽
す能わず

願わくは 妙順法尼 百福莊嚴の峰
には 実相真如の月を輝かしめ 万徳
円満の貌には 自受法楽の咲みを含ま
せたまえ 経に云く 深く罪福の相を
達して 遍く十方を照したもう

南無妙法蓮華經

維時 令和六年三月一日

大乘山法音寺 伝燈

廣頭院日教

稽首和南

弔辞（進師法縁法音会）

本日、法音寺安芸津支院前主管・湯
本妙順法尼の葬儀に当たり、慎んでお
悔やみ申し上げます。先生とは大変長
い間ご縁をいただきましたが、本
当に親しくさせていただいたのは私が
三原に帰って来てからということにな
ります。それでも、もう三十年も経つ

てしまいました。その三十年の中で、
折々の言葉、垣間見たお姿、人から聞
いた話などいくつもお話しさせていた
できます。

父、智岳上人から聴いたことなので
すが、東京支院前主管・猪原妙政先生
は習いごとが大変上手で、趣味の広い
方だったのに対し、姉の妙順先生はと
にかく学業優秀で、何でもよくできた
方だったとのことでした。姉妹そろって
後の支院を背負う程の器量をお持ちだ
ったのだと思います。

私が三原に帰って安芸津支院の講日
にお邪魔した時、何度も「あなたのご
両親はあなたのためによくお徳を積ま
れましたよ」とお話しくださいました。
「あなたは幸せ者ですよ」との言葉を
いただき、とてもうれしかったことを
思い出します。

また、三原支院の節分においていた
だいた時、食事はいつもすべて召し上
がりました。よく食べる人は、元氣
で長生きするの言葉通りでした。本
堂での豆まきの時も、隣の二階建ての

顕修堂から何度も往復しなければなら
ないのですが、随分の間続けられまし
た。

研究心、好奇心も旺盛で、よく私の
妻にも何かにつけて「お菓子は何処で
買ったの？」とか「この料理は？」と
聞いておられたそうです。自分で考え、
自分で行動する積極的で、優秀な方だ
ったのだと思います。

何年前か、安芸津支院で骨折された
ことがありましたが、ひたすらリハビリ
に励まれ、あつという間に現場復帰
されました。また、先生は足が速く、
名古屋駅のプラットホームでお姿を見
かけた時、「先生」と声をかけさせて
いただのですが、あつという間に
多くの人の合間をぬって、スイスイ通
り抜けて行かれ、姿を見失うことも二、
三回ありました。とにかく、小さなこ
とによくよくよせずエネルギーにあふれ、
前向きな方でした。それでいて、濃厚
な人柄、優しい言葉、思いやりにあふ
れた笑顔など、見習う所の多い先生で
した。

今頃、先生は、諸先輩からねぎらいの言葉をかけられ、「そんな、そんな」と言って、はにかんでおられることでしょう。

先生、長い間ご苦労さまでした。

心よりお礼申し上げ、お別れの言葉とさせていただきます。

令和六年三月一日

進師法縁法音会代表 森野智広

弔辞（檀信徒代表）

湯本先生のご逝去に接し、法音寺安芸津支院を代表してお別れの言葉を申し上げます。

この大きな出来事は、半ば覚悟していたところではありましたが、お顔を拝し、声をおかけしても返事がなく、現実を目の前にし、驚きと動揺を隠されませんでした。このことがやがて寂しさや心残りに変わっていくのだらうと思いますが、今は言葉にできませぬ。

生前中は、気取らず、飾らず、誰に

おもねることもなく、飄々と、自然体でいて、信者さんの相談には静かに耳を傾け、温かく寄り添っていたお姿が思い出されます。

晩年には「生きるのもしんどいんよ」とよく口にされていました。ある年の新年祝袴会の折、始祖杉山先生、二村上先生、そして御開山上人の三先師のお歌を短冊に書いたものをくじのようにつまみ引く催しがありますが、その時に引き当てたお歌が、

「今しばし世にながらえて人のため驚の御山へ道もひらかむ」という村上先生のお歌でした。

「まだ死なれんねえ」と、はにかみ笑っておられました。

本日、山首上人さま大導師のもと、また本山や遠近から法縁の皆さまにご参列をいただき、丁重なる葬送の儀をお勤めいただき、感謝に堪えません。

それと同時に、先生が三先師の皆さまに、また日達上人に手を引かれ、いよいよ靈山浄土に颯爽と赴かれているお姿が目に見えようです。

先生、本当に長い間、我々檀信徒にご教化をいただき、誠にありがとうございます。ありがとうございました。

願わくは、これからも安芸津支院を見守っていただければ幸いです。名残りはつきませんが、これでお別れいたします。

令和六年三月一日

檀信徒代表 上坂久生



上野支院前主管 橋本妙富法尼ご遷化



令和6年2月29日、上野支院前主管・橋本妙富法尼（慈脩院妙富法尼）がご遷化されました。法寿92歳。

歎徳文

靈山一会巖然未散 法華經中常住の一切の三宝 殊には末法唱導師 高祖日蓮大菩薩 当山始祖廣宣院殿安立大

法尼 二祖弘教院殿宗玄大徳 御開山泰山院日進上人 第二世顕修院日達上人等 悉皆慈悲影現道場の御宝前において 一会の清衆と共に恭しく一乘圓頓の法筵を張り 当山上野支院前主管慈脩院妙富法尼の葬送の儀を修し奉る 夫れ以れば 仏天も遁れ難きは 生者必滅の理 四聖も免れ難きは 会者定離の習いなり 爰に十号の月の光も有為の雲に隠れ 六欲の花の色も転変の嵐に萎む 誰の人か滅せざらん 何れの処か常住ならんや

爰に妙富法尼 令和六年二月二十九日 世寿九十有二歳法臘十九年を以て生死の理を示さんが為 人界娑婆を離れて 安祥として化を他界に遷し 常住不壞の靈山浄土に赴くなり

状を案ずるに 妙富法尼 昭和八年九月十四日 父市南金次郎 母きくの長女として 三重県阿山郡花之木村に生まる 往昔の結縁深重なるかな 昭

和三十二年 犬飼妙淳法尼と出會い聞き難き曇花の妙法を聞けり 爾来求道心堅固にして 菩提心を退せず 法華經三徳に身命をささげ 犬飼清学上人 妙淳法尼 常教上人を支え 寺門の繁榮に誠を尽さる 平成十八年十二月二十日 甚深の宿縁に依りて 当山第二世顕修院日達上人を戒師として出家得度す これよりは愈々道念堅固にて 昼夜に玄題を高唱し 広演此經の座を設けては 哀愍衆生の質を示し給う

妙富法尼 生涯仏祖の誓願を一心に体し 道心いささかも揺がず 内に慈悲の徳を示し 親疎之れに帰す 外には柔和の相を表し 遠近之れに隨う故を以て往來の客絶ゆることなく 常に市を成すが如し

然りと雖も 閻序の苦使は英雄を恐れず 変異の罪鬼は老壯を問わず 生者必滅の掟通れがたし 悲しい哉 妙

富法尼の温顔に接すること 今はなし
本日葬送の霊前に立ち 在りし日の
面影を偲び 幾多の思い出に追慕を新
たならしめども 遺音を寂寞の中に求
むるのみ 嗚咽胸にあふれて言葉を尽
す能わず

願わくは 妙富法尼 百福莊嚴の峰
には 実相真如の月を輝かしめ 万徳
円満の貌には 自受法楽の咲みを含ま
せたまえ 経に云く 深く罪福の相を
達して 遍く十方を照したもう

南無妙法蓮華経

維時 令和六年三月四日

大乘山法音寺 伝燈

廣顕院 日教

稽首和南

甲 辞 (進師法縁法音会)

本日、上野支院前主管 橋本妙富法
尼のご霊前に謹んでお別れの言葉を捧
げます。

「すみませんなあ。ありがとう。おお
きに」

先生を思う時、最初に脳裏に浮かぶ
のが、この言葉と、身を低く屈めなが
らご挨拶されるお姿です。ここに集わ
れた皆さまも同じ記憶が浮かぶのでは
ないでしょうか。先生のこの常套句と
振る舞いは、謙虚さと感謝の心を常に
持ち続け、身に沁み込ませた証ではな
いでしょうか。

先生は不思議なご縁でこの妙法にめ
ぐり逢い、その後、長年にわたって犬
飼ご夫妻・常教上人に仕えられ、正し
く御法のためにその身を捧げられた人
生でした。特に妙淳法尼とは深い宿
縁があったようで、私が本山の宿直当
番を勤めている時、晩年の法尼のご体
調が優れず、先生から日達上人に直接
「お徳願い・罪障消滅をしたい」と何
度かお電話をかけてこられました。た
だ時間も12時近くになっており、取り
次ぐ私も緊張し、法尼に代わって申し
出られる先生からも、切羽詰まった息
遣いと、恐縮されている様子が伝わっ
て来ました。些細な場面ではありますが、
後

に先生とは懐かしくその時のことを語
り合いましたね。真夜中まで師匠であ
る法尼に付き添われるその姿勢に、給
仕をする者の至誠の心構えを教示し
ていただきました。

法尼がご遷化された後は、常教上人
を補佐して信徒の皆さまに姉の如く、
母の如く、親身になって寄り添い、法
尼から受け継がれたみ教えと慈しみの
心でご教化されました。

常教上人ご遷化の後には出家得度し、
一層布教に努められました。妙法宣布
の志は今、檀信徒の皆さまとともに道
念上人・宗晃上人に受け継がれていま
す。どうぞご安心ください。先生、今
は三先師・日達上人とともに犬飼ご夫
妻・常教上人に「ご苦労だったね」と
労いのお言葉をかけられ、迎えられて
いるのでしょうか。先生の謙虚さと感
謝の心、給仕の姿勢を道標に精進して
まいります。いつものあの朗らかな笑
顔で見守ってください。

橋本法尼の増円妙道を祈念して、お
別れの言葉といたします。

令和六年三月四日

進師法縁法音会代表 毛利行徳

弔辞（檀信徒代表）

橋本妙富法尼のご霊前に、上野支院檀信徒を代表し、謹んで哀悼の意を捧げます。

法尼のあまりに突然の訃報に、檀信徒一同が驚き、深い悲しみに包まれております。

いつも母のように広い心と深いまなざしをもって接してくださった法尼がご逝去されたことは、今でも信じられませんが。

幼い私が母に連れられ、お寺にお参りをしていた頃の妙富法尼（当時は橋本さんとお呼びしていました）は、いつお寺に行っても、犬飼妙淳法尼のおそばで、お参りをされた信者さまにお茶を出されたり、お神通かけをされたり、さまざまなお奉仕をされ、「一体いつお家に帰られているんやろう」と子ども心に思うほど、お寺にいらっ

しやいました。

上野支院（当時の名称安立寺）開堂五十周年を祈念して編纂された安立寺星霜五十年にも、すばらしいご体験を『心遣いの恐ろしさ』と題して寄稿され大変勉強になりました。

犬飼清学上人、妙淳法尼がご遷化され、そして、常教上人が突然にご遷化した悲しみにひたる間もなく、支院の責任者、後の主管者として、道念上人が主管者となられるまでの間は、お寺を護るといふ御重責を担い、私達には想像もできないくらいお働きであったのでしようね。

しかしながらも、それを見事にやり遂げられ、後継者でいらつしやいます道念上人へと立派に引き継がれました。道念上人が、信行道場を終えられて、身延山までお迎えに行かせていただいた時のあの笑顔、今でもはつきりと思いでい出せます。心の底からうれしかったのでしようね。

私が結婚して15年ほど経った頃、妻

が大怪我をし、長男が引き籠もり状態になった時には「寛ちゃん、焦りは禁物、ゆっくり薄皮を剥がしていくように、少しずつ罪障を消滅していく。そのくらいのつもりで、毎月罪障消滅、心使いや行いに気をつけて頑張っていこうね」と母が子を諭すようにご教化くださいました。お陰で今は三人の元氣な孫達にも恵まれ、家族みんな元気に暮らせています。あの時のあのお言葉は、今も心の奥深く刻まれ、菩薩行の指針となつています、本当にありがとうございます。

先師のもとへ旅立たれ、ご生前のすばらしい菩薩行への労いのお言葉を沢山いただいたいてください。そしてこれからも、私達を見守ってください。数々のご教化をありがとうございます。檀信徒代表として、心からの御礼を申し上げます。

令和六年三月四日

檀信徒代表 廣出寛一

ひろば

福祉の



幸せのお手伝い

「あなたが教えてくれた
新しい支援方法」

利用者さんと二人三脚で

感染症社会を乗り越えて新時代へ

自閉症の症状の一つでもある「こだわり」で衣類破りがあるＴさん。自分の衣類で気に入らないものがあると、すぐに破ってしまいます。そして、破った衣類を職員に渡し、新しい衣類が欲しいと訴えてこられる、衣類に関する強いこだわりのある利用者さんでした。

私はＴさんに対して、最初はどのような声掛けをし、支援をすればいいのかわからず、Ｔさんが、大きな声を出すなどし、不安定になってしまつて

とが度々ありました。

しかし、何度もご本人の言葉に耳を傾け、試行錯誤しながら支援したところ、衣類破りがあつてもすぐに対応できるようになりました。そして、少しずつ衣類破りの回数も減りました。

毎週末に実施している帰宅実習の際に、保護者さんに衣類を購入してきてもらったり、帰寮の際に予備の衣類を何着かお預かりして、破ってしまったもすぐに新しい物を渡せるようにしました。その結果、保護者の方とコミュニケーションを密に取ることができ、Ｔさんのことについてもより深く知ることができました。

しかし、新型コロナウイルス感染症が流行した際、毎週末に実施していた帰宅実習が中止となつてしまいました。このことによつて、Tさんの生活リズムが崩れてしまい、大きなストレスから顕著に衣類破りが多くなりました。

私は、Tさんにコロナウイルスが原因で帰宅ができないことを伝えても理解してもらえず、頭を悩ませていました。そんな時に事務所に掛けてあったカレンダーがふと目に入り、カレンダーを提示して、Tさんに欲しい物を記入してもらいました。そのカレンダーに記入された、Tさんの欲しいもの情報を元に保護者さんに依頼をし、施設に持ってきていただいたり、郵送していただき、Tさんに提供しました。

この結果、Tさんも先を見通せるようになったためか、衣類破りも以前のように少なくなつてい

きました。現在では、コロナウイルス感染症も落ち着き、毎月1回帰宅実習を再開できています。

Tさんもさまざまなことを制限されたコロナ禍の社会を乗り越えて、毎月の帰宅実習を楽しみに日々、頑張つて生活されています。そして、このような状況であつたからこそ、新しい支援方法を見つげられることができ、私自身も成長できたことに感謝しています。今後も状況に合わせた支援をしていきたいと思ひます。

小原寮 生活支援員 木村 直貴



構想2年! 製作3カ月! 『手作りかまど』が完成!



写真提供・昭徳会

特別養護老人ホーム 安立荘

～安立荘の玄関先に新しく回想法スペースが誕生しました～

「はじめちよろちよろ、中はっば、

じゅうじゅうふいたら火を引いて、

赤子泣いてもふたどるな」

地方によっては、少し言い回しが違うこともあるようですが、この言葉の意味がわかりますか？ 目の前に光景が浮かんできた方は、すでに「回想法」が始まっています。

生活の中で、「火をくべる」という言葉を使う機会はめっきり少なくなっていました。炊飯器やガスコンロのない時代、かまどに薪などをくべて火を起こし、釜でお米を炊いていました。「はじめは弱火で」、「中頃は一気に強火にして」、「沸騰が続き吹きこぼれてきたら、吹きこぼれない程度に火を弱め」、「子どもが泣いてもおいしくするために蒸らすこと」という意味ですが、普段の生活の中で昔のことを思い出す機会は少ないことと思います。

しかし、同窓会へ行ったとき、次から次へと過去の記憶が呼び戻され、昔話に花が咲きますよね。まさに、これが安立荘で取り組んでいる「回想法」です。

コロナ禍で人との関わり合いが制限され、外食や飲食関連の企画もすべて中止に追いこまれ、ご利用者ばかり



か職員にとっても介護の楽しみの一つがなくなってしまうました。そして、「やりたくてもやれない」数年が経過すると怖いもので「やらなくてもあたりまえ」に変わってしまったている実態がありました。

そんな状況を何とかしたいという思いで、用務員さん達に「羽釜でご飯が炊きたいけど、かまどを作れませんかね?」と相談したところ、「できるよ!」の返事が返ってきました。何といても回想法の実践で一番盛り上がるのは、「食べ物」の企画です。それならせひということ、**「手作りかまど」**作りがスタートしました。釜輪に合うように耐火レンガを組み上げていき、組み上がったら赤土粘土を張りつけていきます。最初は順調に思えましたが、粘土の表面

の乾燥が進むにつれ、ひび割れがひどくなり、すべて剥がしてやり直し。こんなことを何回か繰り返し、試行錯誤のうえ、ようやく完成へとこぎつけました。こだわりの屋根と板塀も取り付け、もちろん「火吹き竹」も常備されています。

そして、晴れ渡る空の下、かまどの「火入れ式」の日を迎えました。当日は、市民を対象にした回想法を使ったみよし市の委託事業「懐かし想ひ出列車」の活動日でもあり、終了後の参加者の皆さんにも加わっていただきました。準備していた「ぜんざい」は大好評であちらこちらから「おかわり!」の声が上がり、大盛況のうちに終了しました。

実はこのほかに、「足踏みミシン」や藁から縄を編んでいく「縄ない機(なわないき)」の手入れも完了しており、昔の道具を活かした今後の回想法の展開に一役買ってくれそうです。

特別養護老人ホーム安立荘 荘長 中村 範親



第17回 提携社会福祉法人サミットを開催しました

日本福祉大学×提携社会福祉法人

日本福祉大学は昭徳会を含め、全国14の社会福祉法人と提携し、本学の教育・研究と社会福祉法人の実践の事業交流を図ることで地域社会の発展や社会福祉人材養成の改善・充実に向けた取り組みを行っています。その一環として、毎年2月に社会福祉法人の事業や経営、福祉人材の育成といった課題について相互に学びあう「提携社会福祉法人サミット」を開催しています。

2月23日に開催した今回のサミット「政策動向勉強会」には、提携社会福祉法人関係者および本学関係者を含め約90名（対面50名・Zoom40名）が参加しました。

第1部の基調講演では、こども家庭庁成育局保育政策課の本後課長に登壇いただき、「こども家庭支援の政策動向と社会福祉法人への期待／保育政策をめぐる動きと展望」というテーマでご講演いただきました。



写真提供・日本福祉大学

講演では、令和5年12月に閣議決定された、「こども未来戦略『加速化プラン』」により、76年ぶりの保育士配置基準の改善や処遇改善、現場の負担軽減をはじめとしたさまざまな改革が行われている現状をご紹介いただきました。

第2部のシンポジウムでは、3つの法人から報告がありました。

はじめに登壇された（社）仙台市社会事業協会（宮城県）母子生活支援施設 仙台むつみ荘の石道施設長からは「母子支援」についてご報告がありました。



施設利用者はDVや児童虐待など緊急的な保護を必要とする方で、その支援のために母子支援員や保育士、心理担当職員などさまざまな職員が配置されているが、職員の兼務実態や、認知度が低く利用者増につながりにくいなど、課題があることについてもご説明いただきました。

続いて、(社) 飛騨慈光会(岐阜県)の中沢業務執行理事より、社会的養育推進に向けた取り組みや支援のフロー等についてご報告いただきました。地域支援や入所支援をはじめとするさまざまな支援機能を有効に連携させながら、要支援者に必要とされる存在として社会福祉法人を運営する重要性についてお話しくださいました。



最後に、(社) 甲山福祉センター西宮すなご医療福祉センター(兵庫県)の田中院長より、重症心身障害施設の概要やこれまでの取り組み、社会制度を含めた現在の課題についてご報告いただきました。医療的ケア児の実態として、家族が24時間看護や介護を担うことで、家庭環境が悪化したり、就労がむずかしくかったり、生活環境が家庭と学校等に限定されたりすること等、法律と現状の相違についてご紹介いただきました。



お三方からの報告後、こども家庭庁成育局保育政策課

の本後課長より、「保育施設の多機能化も重要だが、本当に必要とされているのは保育の多機能化や多義化。また、こどもや妊婦の定義を改めて行い、支援対象の拡充や経済的支援、伴走型支援を平行し、途切れない支援の検討を進めている」と報告事例に基づき、こども家庭庁の支援の検討状況についてお話しいただきました。

最後に提携社会福祉法人のあり方ビジョン推進委員会の木戸副委員長(本学社会福祉学部教授)が、「地域共生社会を実現するため、こども家庭庁が行われている政策や現場での実践例をお聞きする中で、既存事業の多機能化や人員配置などが問題提起された。本サミットのあり方についても検討が進み、次年度以降はより実質的な議論につなげていきたい」と閉会挨拶を述べ、今年度のサミットが締めくくられました。



提携社会福祉法人のあり方ビジョン推進委員会

委員長 山田 壮志郎
(本学社会福祉学部 教授)

幸せの種まき

私達は菩薩行をするため
人を喜ばせて徳を積むために
この世に生まれてきたのです

自分の立場を通して
少しでも周りの人を喜ばせ
徳を積んでいきましよう

大乗山 法音寺

編集後記

「この法華経は三途の河では船となり、死出の山では大白牛車となり、冥途では燈明となり、靈山浄土へ渡す橋となるだろう。靈山へ来られたなら、その入口である北東の方角の渡口で日蓮をお呼びなさい。私は必ずそこでお待ちします」(波木井殿御書)

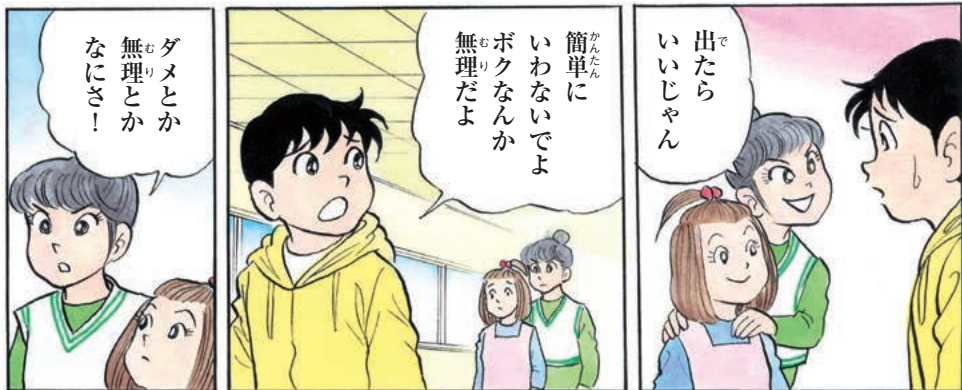
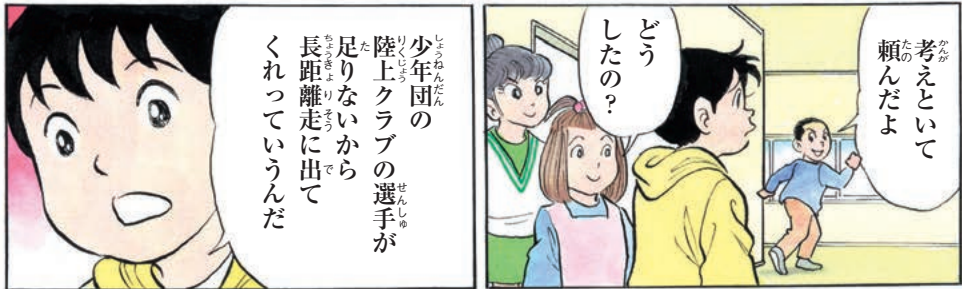
始祖杉山先生は「人生は保釈」と言われ、二祖村上先生は「人生は仮の宿」と表現されたように、私達は修行のために今世で生かされている。とお寺では教えられています。修行の場であれば、不都合があつて当然です。それでも私達は「今世で成仏」をめざし、善因を積み重ねて人生を全うしなければなりません。日達上人もまた「私達は徳を積むために生まれてきたのです」と私達には使命があることを教えてくださいました。そしていづれ、誰もが靈山浄土へ帰っていき、その時、み教えに導いてくださった方々と再会を果たすのでしよう。

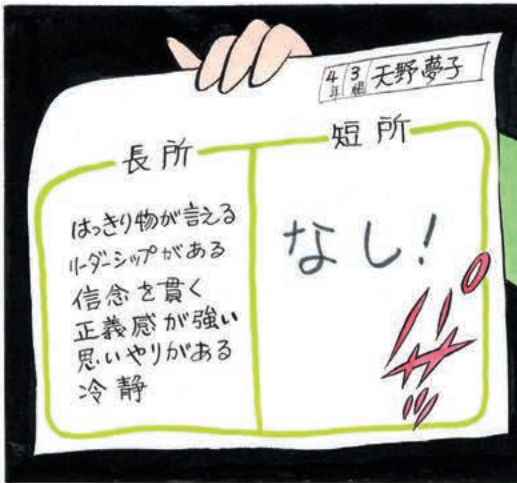
今月号では二人の法尼の旅立ちについて計報記事を掲載いたしました。お別れは寂しいですが、きっと私達をいつも見守ってくださいることを信じて、ご恩に報いるためにも日々精進を重ねていきたいものです。感謝を込めて、心からご冥福をお祈りいたします。

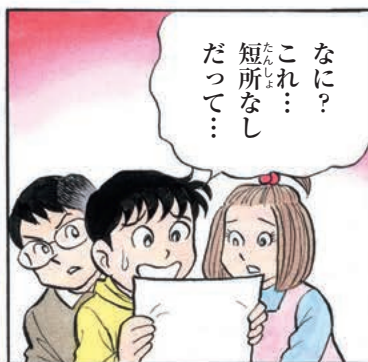


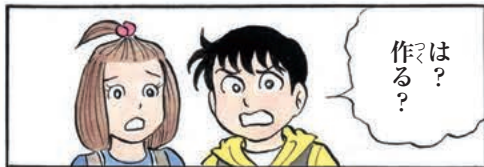
ちようしょ つく
長所を作ろう

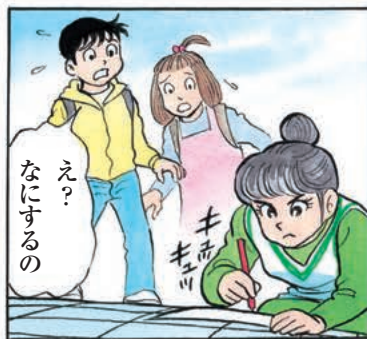
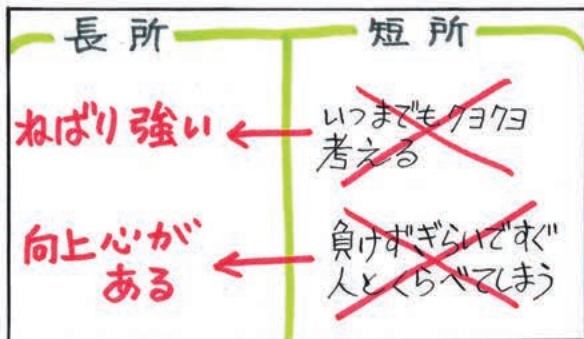
竹中 淳







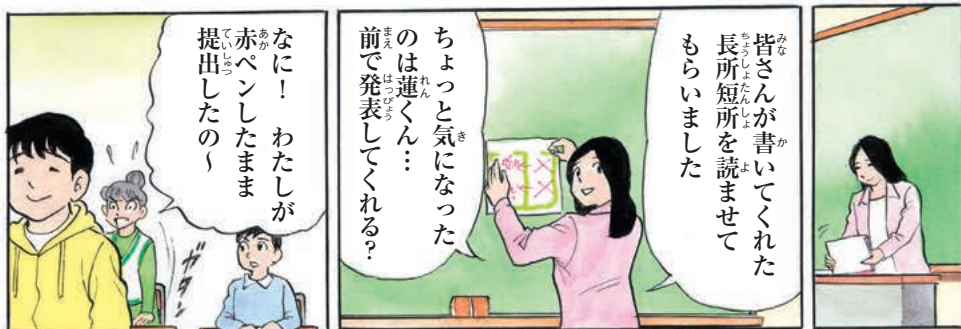








数日後



皆さんが書いてくれた
長所短所を読ませて
もらいました

ちょっと気になった
のは蓮くん…
前で発表してくれる？

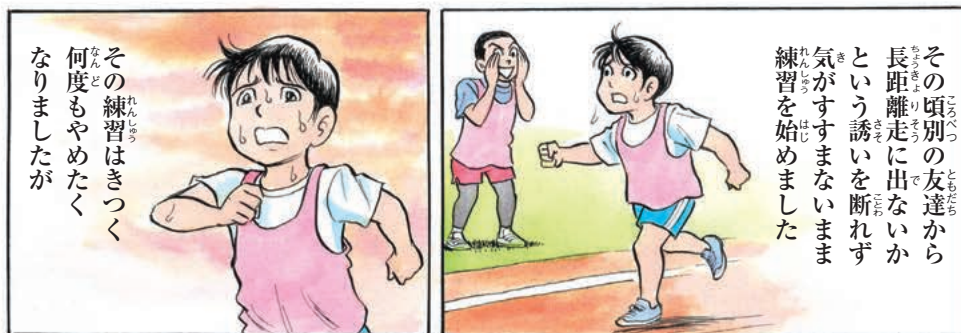
なに！ わたしが
赤ペンしたまま
提出したの！



ボクの短所は
すぐ書けましたが
長所はなかなか
みつかりませんでした

そんな時
友達から
なりたいたい自分に
なるために

長所を作ったらいわれ
長所を目標にしたのです



その頃別の友達から
長距離走に出ないか
という誘いを断れず
気がすすまぬまま
練習を始めました

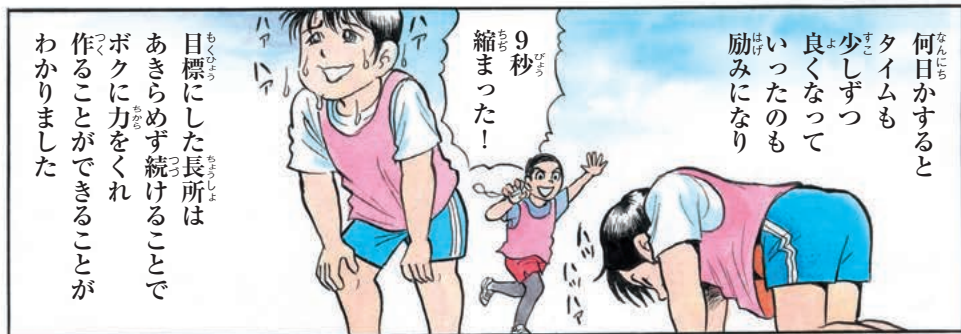
その練習はきつく
何度もやめたく
なりましたが



なりたい自分になる
ために作った長所が
苦しい時頭の中で
グルグルかけめぐり

ねばり強い
向上心がある

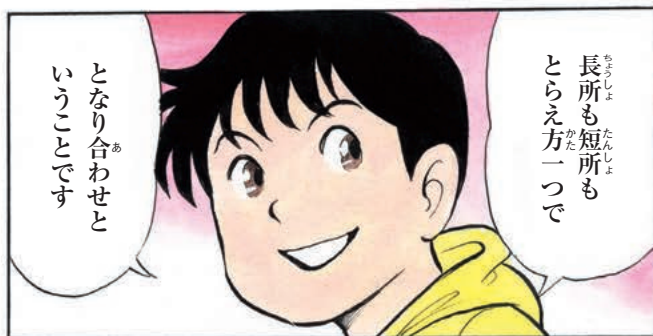
苦しい時間を
ねばり強くたえぬく
ことができました



何日かすると
タイムも
少しずつ
良くなって
いったのも
励みになり

9秒
縮まった!

目標にした長所は
あきらめず続けることで
ボクに力をくれ
作ることができることが
わかりました



長所も短所も
とらえ方一つで

となり合わせと
いうことです



で この短所の
×があるけど
なしってこと?



給食のプリンで
どう??

許す



わたしの話
パクった
わね



蓮くんはとても
良い体験を
しましたね

長所と短所は
となり合わせ
先生もそう思います

おしまい

法音寺物語

社会福祉という言葉がなかった時代…
人々を本当の幸せにする仏教の精神で
社会的弱者を救済する人達がありました。



貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、
差別を受けたハンセン病を患った人々に
寄り添い、様々な事情で親をなくした
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に
生きる希望を与えてきました。



お寺になったのは戦後(昭和22年)のこと。
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を
運営する中で、本当に人々を救済するには
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・
日本福祉大学を開設しました。



その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。





悦可衆心

相手を満足させればすぐ喜びがくる
相手をいたわれれば喜び合う日が必ずくる

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大修行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
https://www.houonji.com FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています

SNSでつながる法音寺

法音寺公式
facebookで
毎朝7時
『一日一言』
配信中!!

こちらの
QRコードから
ご覧いただけます。



毎週火曜日
法音寺メールマガジン
配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、
人にやさしく生きていくための
コツなどを配信します。

こちらのQRコードから
メールマガジン登録フォームを
ご覧いただけます。



YouTubeにて
法音寺チャンネル
開設中!!

<https://www.youtube.com/user/houonjimovie>

こちらのQRコードから
法音寺紹介動画を
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺

検索

法音寺の社会福祉・教育事業

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭徳会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保育所
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市長和区駒方町4-10
TEL (052) 831-5171
<https://www.syoutokukai.or.jp>



我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL (0569) 87-2211
<https://www.n-fukushi.ac.jp>



法音・令和6年4月号・No.654・令和6年4月1日発行
発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会
非売品／印刷・(株)一誠社